

戦前期中国在留日本人統計 全8巻

表示価格は、全て税別

概要——B5・A5・A4判／上製本／総3、500頁

内容	概要
第1巻——明治41年～大正6年 (B5判/428頁)	第1回配本Ⅱ第1巻～第4巻 (04年6月刊)
第2巻——大正7年～大正13年 (B5判/442頁)	本体揃価格95,000円+税 ISBN4-8350-5313-3
第3巻——大正14年～昭和3年 (B5判/552頁)	
第4巻——昭和4年～昭和6年 (B5判/510頁)	第2回配本Ⅱ第5巻～第8巻 (04年11月刊)
第5巻——昭和7年～昭和8年 (B5判/384頁)	
第6巻——昭和9年～昭和11年 (A4判/440頁)	本体揃価格95,000円+税 ISBN4-8350-5138-4
第7巻——昭和9年～昭和12年 (A5判/226頁)	
第8巻——昭和15年～昭和19年 (A4判/518頁)	

原本——外務省外交史料館 東京大学経済学部図書館 文化センター・アリラン所蔵本
 解題——木村健二(下関市立大学)・幸野保典(文化センター・アリラン)——第1巻の巻頭に収録
 推薦——高嶋雅明(和歌山大学教授)・川島 真(北海道大学助教授)
 定価——全8巻揃価格190,000円+税

関連図書のご案内

海外各地 在留本邦人職業別人口表 全5巻附録1

明治40年以降、三十年以上にわたって刊行された、世界各地に居住する日本人について、その男女別・職業別の統計を一覧表形式にまとめた調査の編集復刻版。

解説——柳田利夫(慶應義塾大学教授)
 定価——本体揃価格95,000円+税
 ISBN4-8350-4276-X

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘一丁目二
 TEL 03-3812-4433
 FAX 03-3812-4464
 振替 00160-194084

日露戦争の終結から四年後の一九〇九(明治42)年六月、外務省政務局編纂による『関東州並満洲在留本邦人及外国人人口統計表』(明治41年12月現在)が初めて刊行された。以後、誌名を種々変遷しながら、ほぼ毎年刊行されたこれらの統計は、当該地域の各領事館・分館の管轄内人口調査報告に基づいて作成され、内容も地域別(中国・満洲国・台湾)、民族別(日本人・中国人・朝鮮人・台湾人・及び外国人)に男女別人数とその合計を掲載し、一九四四(昭和19)年七月までの具体的な増加状況を通年で概観できる。

戦前の日本政府や「日本人」が中国のどの地域に関心を持ち、その重要性が時代の変遷と共にどう変化したかを知る格好の資料として復刻する。——不二出版

外務省政務局ほか 編【編集復刻版】

戦前期 中国在留 日本人統計 全8巻

昭和七年十二月末日現在

満洲国及中華民国在留本邦人及外国人人口統計表 第二十五回

外務省 亞細亞局

体裁——B5・A5・A4判／上製本／総3、500頁
 収録——明治41年～昭和19年
 解題——木村健二(下関市立大学)
 幸野保典(文化センター・アリラン)
 定価——本体揃価格190,000円+税

中国における日本の支配地域や影響の拡大を端的に示す基本資料！ カラー図表付き

中国における移殖民活動を 動態的に分析できる貴重資料

高嶋雅明 (和歌山大学経済学部教授)

日露戦争後に日本人の中国への移住が本格化し、その波は第一次世界大戦「満州事変」・「満州国」樹立を画期として一段と高まった。移住の意図・目的や実態は極めて多様であり、移住者の数も時期によっても大いに異なっていたが、外務省は早くから在外公館(領事館等)に命じてその管轄地域の在留本邦人(及外国人)の把握に努め、その結果を「人口統計表」として刊行してきた。これらは、近代史における日本人の国際移動の主要な流れである日本人の中国における活動を明らかにし、また、帝国内の人びとの移動を分析するために欠かすことのできない基礎的資料である。

このたび、これらの資料群が不二出版の編集復刻版「戦前期中国在留日本人統計」として刊行される運びとなり、得難い貴重な資料を容易に手にとることができるようになったことを心から喜びたい。本資料に加え、同じく同社から復刻刊行されている「海外各地在留本邦人職業別人口表」や、木村健二氏と幸野保典氏の解題にも紹介されている「国勢調査報告」などによって、明治期から昭和戦前期にいたる中国における「日本人」移殖民活動を一層動態的に分析することが可能となろう。この資料が多くの研究者に利用され、大学図書館はじめ諸機関に架蔵されることを願っている。

「帝国」を想像するデータベース

川島 真 (北海道大学法学部助教授)

戦前期、「日本人」は中国にヴィザはもちろん、パスポートチェックなしで渡航することができた。中国人にも適用された平等互恵のルールであるが、現在とはまったく異なる状況の下で日中間のヒトの交流が進展していたのである。また、そこに台湾籍民などが加わり、ヒトの移動をめぐるルールと実態は相互に連動しながら変容していった。これは、四つの島を前提とした「日本」の中におり、かつパスポートやヴィザなど移動に関する制度の下に二十世紀後半の「日本人」には想像しにくいことである。そうした意味で、単に現在からのアナロジーから「帝国」を想像することには困難がつきまといってしまう。

そうした困難を克服すべく、昨今、「帝国」の実像に迫り、「日本人」の活動の軌跡を辿ろうとする研究が出始めている。日本の近代を、四つの島から解き放たれた同時代的史的な「日本」の空間の中で捉えなおそうとする試みである。果たして、「日本人」はどこで何をしていたのか。そうした根源的な問いから日本近代、「帝国」を見据えなおすことができれば、日中関係史や東アジア史にも新たな視点を提示できるであろう。

中国にいた日本人の人口統計は、こうした試みに対して格好のデータベースを提供する。加えて二十世紀の前半世紀を通じた変容過程も把握できる。この史料の復刻は、可能性に満ちている。

収録一覧

第1巻 付・解題 (木村健二・幸野保典)

- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 明治41年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 明治43年12月調査 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 明治44年12月調査 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正元年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正2年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正3年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正4年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正5年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正6年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正7年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正8年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正9年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正10年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正12年12月現在 外務省政務局編
- 関東州並滿洲在留本邦人及外国人人口統計表 大正13年12月現在 外務省政務局編

第2巻

- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 大正14年12月末日現在 外務省亜細亜局編
- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 昭和元年12月末日現在 外務省亜細亜局編
- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 昭和2年12月末日現在 外務省亜細亜局編
- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 昭和3年12月末日現在 外務省亜細亜局編

第3巻

- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 昭和4年12月末日現在 外務省亜細亜局編
- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 昭和5年12月末日現在 外務省亜細亜局編
- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 昭和6年12月末日現在 外務省亜細亜局編

第4巻

- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 昭和7年12月末日現在 外務省東亜局編
- 支那在留本邦人及外国人人口統計表 昭和8年12月末日現在 外務省東亜局編

第6巻

- 滿洲国及中華民國在留本邦人及外国人人口統計表 昭和9年12月末日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人及外国人人口統計表 昭和10年12月末日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人及外国人人口統計表 昭和11年12月末日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人人口統計表 昭和9年6月末日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人人口統計表 昭和9年9月末日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人人口統計表 昭和9年12月末日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人人口統計表 昭和10年4月1日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人人口統計表 昭和12年1月1日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人人口統計表 昭和12年4月1日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人人口統計表 昭和12年7月1日現在 外務省東亜局編
- 滿洲国及中華民國在留本邦人人口統計表 昭和12年10月1日現在 外務省東亜局編

第8巻

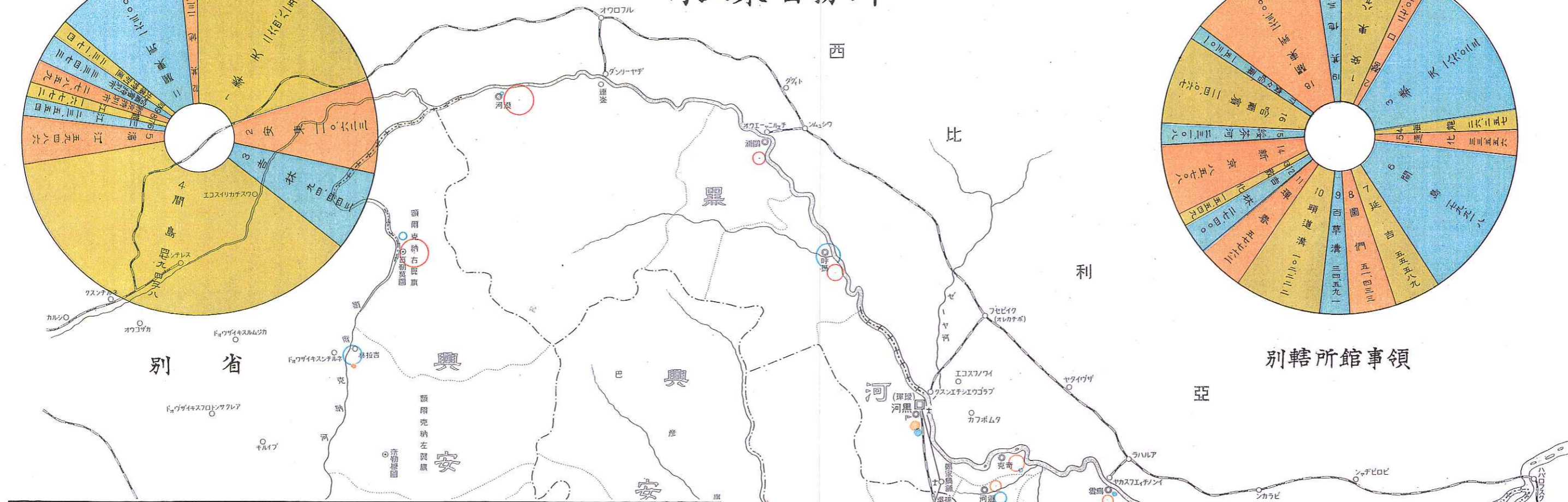
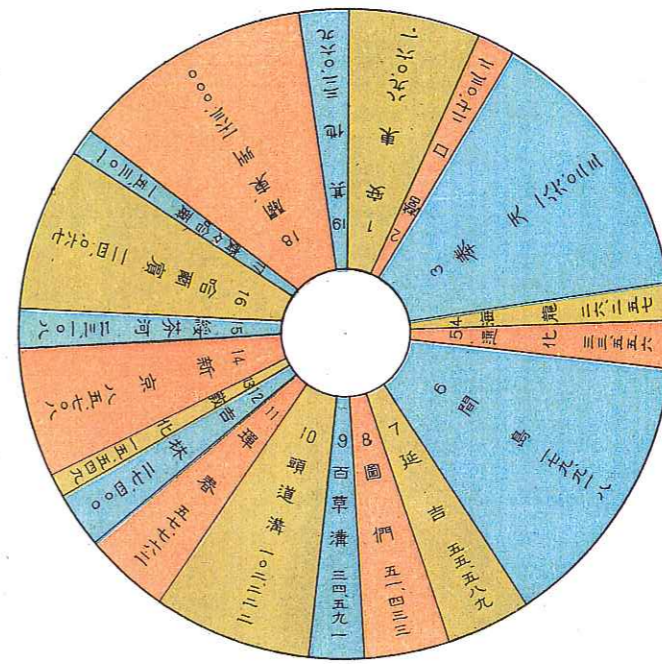
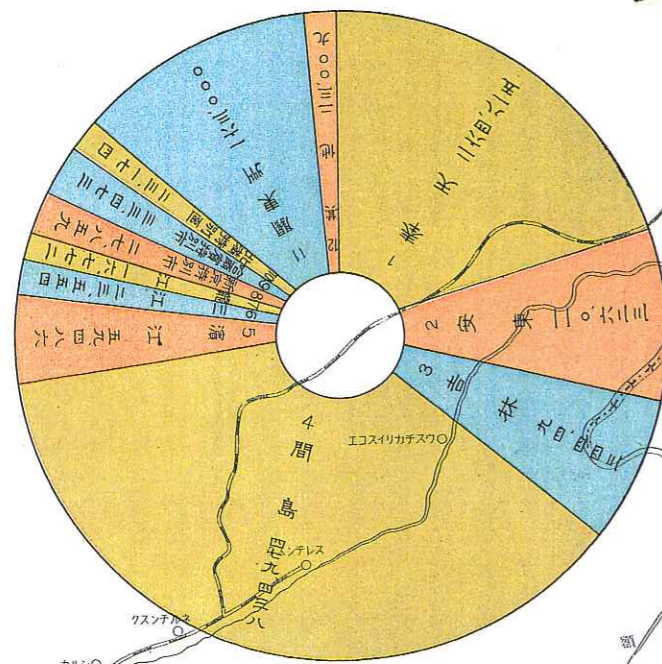
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表 昭和15年1月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表 昭和16年1月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表 昭和16年4月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表 昭和16年7月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表 昭和17年1月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表 昭和17年4月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表 昭和17年7月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表 昭和17年10月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表(昭和18年第1報) 昭和18年1月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表(第2報) 昭和18年4月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表(第3報) 昭和18年7月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表(第4報) 昭和18年10月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表(昭和19年第1報) 昭和19年1月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表(第2報) 昭和19年4月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表(第3報) 昭和19年7月1日現在 大東亜省総務局編
- 中華民國在留本邦人及第三国人人口統計表(第3報) 昭和19年7月1日現在 大東亜省総務局編

在現日末月二十年十和昭

昭和10年12月末日現在の付表より

滿洲國在留本邦人口統計圖

外務省東亞局

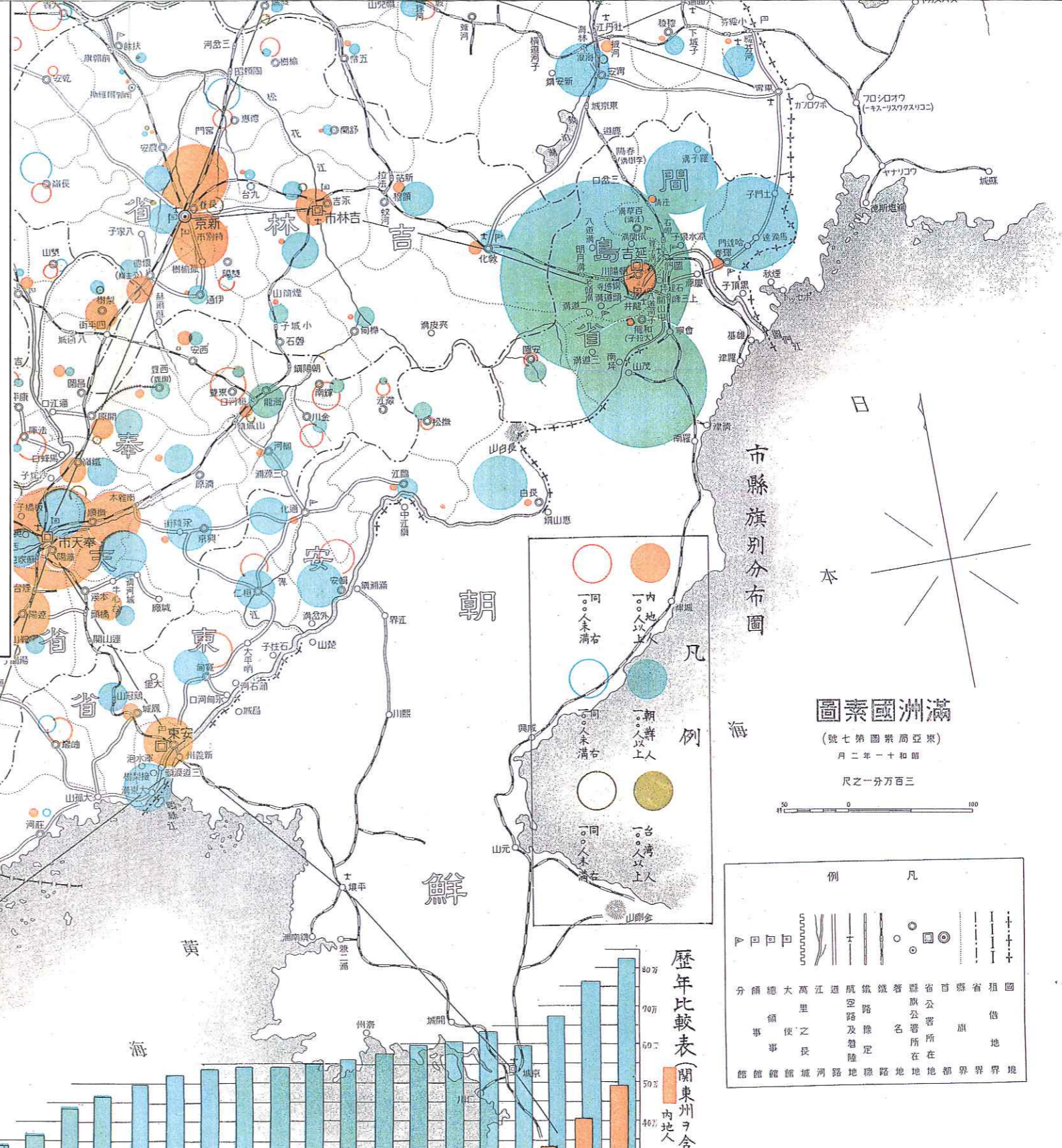


2. 領事館管內別在留本邦人口

區分	内地人				朝鮮人				臺灣人				合計			
	戸數	男	女	計	戸數	男	女	計	戸數	男	女	計	戸數	男	女	計
總計	205,053	279,153	226,939	506,092	24,789	37,446	36,104	73,550	13,929	19,736	10,388	30,124	243,771	336,335	273,431	609,766
北支	128,244	175,367	150,125	325,492	17,519	27,251	26,684	53,935	471	859	605	1,464	146,234	203,477	177,414	380,891
張家口	9,870	11,777	9,996	21,773	548	713	576	1,289	17	27	15	42	10,435	12,517	10,587	23,104
大同	4,376	6,158	5,170	11,328	433	495	573	1,068	10	10	8	18	4,819	6,663	5,751	12,414
厚和	1,837	2,444	2,145	4,589	118	201	219	420	3	3	1	4	1,958	2,648	2,365	5,013
包头	1,147	1,620	879	2,499	124	181	182	363	2	2	—	2	1,273	1,803	1,061	2,864
北京	31,448	42,811	37,675	80,486	4,116	6,517	6,422	12,939	153	294	221	515	35,717	49,622	44,318	93,940
天津	22,207	30,299	26,835	57,134	2,292	3,809	3,283	7,092	165	287	239	526	24,664	34,395	30,357	64,752
塘沽	2,026	2,387	1,718	4,105	244	296	207	503	2	3	4	7	2,272	2,686	1,929	4,615
唐山	2,699	3,026	1,739	4,765	1,642	3,465	3,234	6,699	5	7	6	13	4,346	6,498	4,979	11,477
山海關	1,758	2,219	1,810	4,029	256	450	467	917	1	2	4	6	2,015	2,671	2,281	4,952
石門	6,441	8,746	7,024	15,770	1,309	2,011	2,025	4,036	8	9	3	12	7,758	10,766	9,052	19,818
太原	12,402	16,053	12,893	28,946	2,050	2,514	3,200	5,714	13	16	15	31	14,465	18,583	16,108	34,691
芝罘	1,019	1,258	1,064	2,322	77	118	75	193	3	4	6	10	1,099	1,380	1,145	2,525
青島	12,274	20,218	19,554	39,772	731	1,358	1,217	2,575	54	143	59	202	13,059	21,719	20,830	42,549
濟南	10,462	15,550	13,300	28,850	1,259	1,905	1,974	3,879	26	38	19	57	11,747	17,493	15,293	32,786
張店	2,341	3,005	2,014	5,019	114	112	107	219	2	2	—	2	2,457	3,119	2,121	5,240

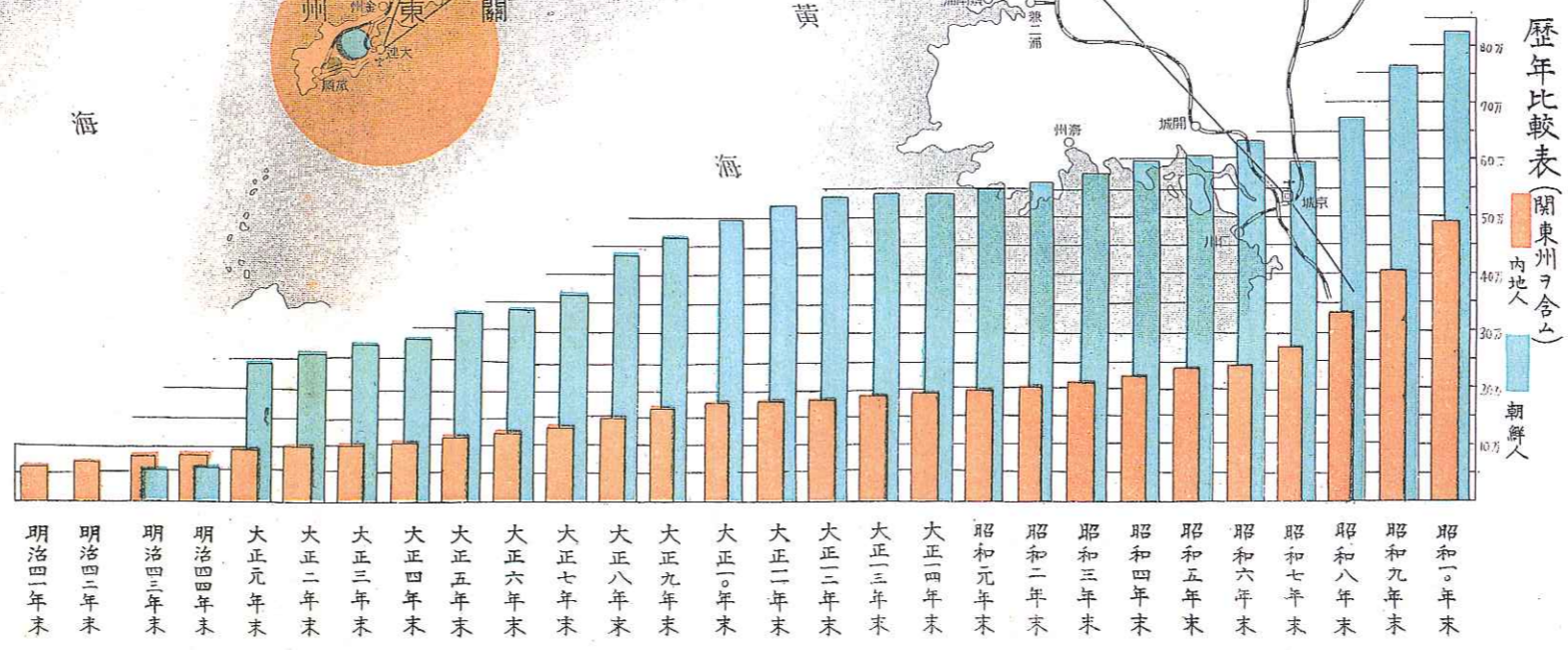
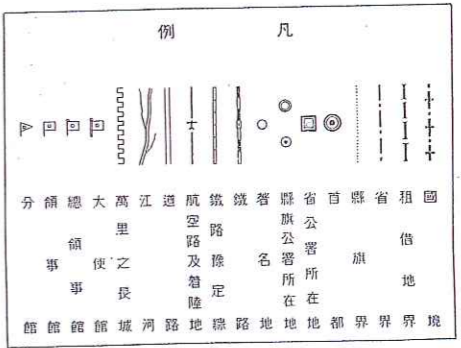
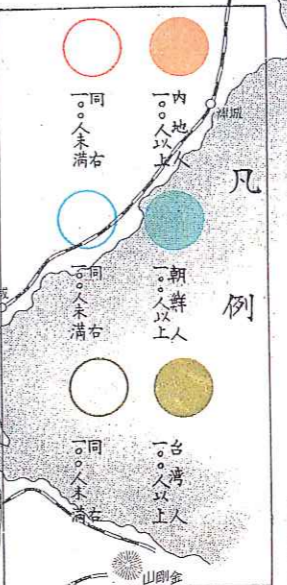
開封	5,937	7,796	6,309	14,105	2,206	3,106	2,923	6,029	7	12	5	17	8,150	10,914	9,237	20,151
中支計	65,930	90,927	71,018	161,945	6,178	9,158	8,748	17,906	2,640	4,378	2,723	7,101	74,748	104,463	82,489	186,952
上海	35,193	15,505	42,531	94,036	2,034	3,057	2,602	5,659	1,198	2,177	1,509	3,686	38,425	56,739	46,642	103,381
蘇州	2,396	3,018	2,038	5,056	146	267	178	445	92	146	69	215	2,634	3,431	2,285	5,716
杭州	2,835	3,360	2,117	5,477	202	236	250	486	271	410	239	649	3,308	4,006	2,606	6,612
南京	8,091	10,393	9,079	19,472	387	540	549	1,089	517	841	548	1,389	8,995	11,774	10,176	21,950
蚌埠	1,673	2,156	1,349	3,505	263	392	343	735	63	81	43	124	1,999	2,629	1,735	4,364
徐州	4,327	5,946	4,227	10,173	1,863	2,847	2,713	5,560	10	15	11	26	6,200	8,808	6,951	15,759
海州	2,101	2,328	1,502	3,830	252	382	212	594	4	4	—	4	2,357	2,714	1,714	4,428
蕪湖	2,283	2,862	1,476	4,338	146	232	230	462	245	314	93	407	2,674	3,408	1,799	5,207
九江	805	1,070	704	1,774	74	117	180	297	40	68	31	99	919	1,255	915	2,170
漢口	6,226	8,289	5,995	14,284	811	1,088	1,491	2,579	200	322	180	502	7,237	9,699	7,666	17,365
南支計	10,879	12,859	5,796	18,655	1,092	1,037	672	1,709	10,818	14,499	7,060	21,559	22,789	28,395	13,528	41,923
廈門	623	880	749	1,629	18	13	48	61	2,342	4,092	3,883	7,975	2,983	4,985	4,680	9,665
汕頭	419	514	374	888	15	6	30	36	592	988	753	1,741	1,026	1,508	1,157	2,665
廣東	2,439	3,907	3,000	6,907	93	111	418	529	1,289	2,374	1,494	3,868	3,821	6,392	4,912	11,304
海口	7,300	7,456	1,632	9,088	965	906	176	1,082	6,541	6,979	897	7,876	14,806	15,341	2,705	18,046
澳門	98	102	41	143	1	1	—	1	54	66	33	99	153	169	74	243

昭和19年第3報(7月1日現在)より



市縣旗別分布圖

滿洲國素圖 (號七第圖案局東) 月二年一十和昭 尺之一分万百三



(注) 復刻に際して、原本の76%に縮小した(不二出版)